

2020年6月9日(火) 国崎 アジ・イサキ釣り 功成丸 ツレと
中潮:旧4/18 干潮 01:36(104cm) 満潮 07:00(188cm) 干潮 13:53(13cm) 神島
アジ 私:10尾 ツレ:9尾 43cm~良型数尾 アベレージ40cm
私:マダイ 33・30cm 各1尾 私:イサキ 24cm 1尾

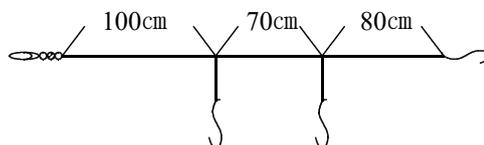
※イサキ釣りで行ったが、結果は大アジ釣りとなった。

4時30分 釣り座抽選
5時00分 出船
7時00分 満潮 (神島188cm)
11時30分 納竿 沖上がり
19時00分~22時00分 魚の処理に3時間かかった。



【料金】 乗り合い 9,000円 氷付き 掛かり釣り

【仕掛け】 電動リール 竿受け 竿 YOIKA BB (私) ライトゲーム モデラート(ツレ)
おもり 80号・100号・120号 青色のかご(Mサイズ) クッションゴム 1.5mm 50cm
魚を絞めるためのゴム手袋 魚すくいの網
持参した仕掛けは釣れないので船上で購入 ¥400 2セット入り
3本針 幹・ハリス3号 枝30cm 全長2.5m ムツ鉤12号 サビキ仕掛け
天秤吹き流し仕掛け



【様子】

- 曇り、風は少々。酔い止めを出船2時間前に飲んだ。波がなかったこともあり酔わなかった。
- 釣り座は7番くじを引いた。右舷側にツレと並んで入った。
- 「おもりは80号か100号。リールの水深が合っていないかもしれないから、一度、底まで落として。」
- おもりは終日、80号を使用した。
- 「水深40m、底から5mくらい。」 「竿をあおったら、1~2m巻き上げて、誘ってください。」
- 一投目からイサキが上がってきた。その後は40cmサイズの大型アジが入れ掛かりの状態。
- 当たりが止まった。時計を見たら7時00分。潮止まりである。
- その後、移動を繰り返すが当たりが遠い。
- 11時頃から、また当たり出した。40cmサイズの大型アジが釣れるようになった。ダブルもあった。
- 「あと1回で終了とします。」 二人とも当たりがあり気持ちよく終わりそうである。しかし、二人とも途中でバレてしまった。
- 自宅に帰り、魚をさばいた。大型が多かったので3時間かかった。
- アジは生け簀の中で長く元気に泳いでいることから、たくさん釣れたら小さいものはリリースする。

【釣り方】

- 水深40mくらい。棚は底から5m~10m。潮が緩んでくると底から5m~15mという状況だった。
- 棚のアナウンスがあるが、リールカウンタがずれていることがあるので、底から何mになるかを計算して釣った。

- 仕掛けを棚まで落とす。大きく2回竿を振り上げ、かごに入っているアミエビをまく。このアミエビの中にサビキが入るようリールを2回巻き、仕掛けを1m上げる。
- しばらく待つ。アジがいれば長く待たずして当たりがある。
- 当たりがなければ、「竿を2回振り上げ、リールを2回巻いて仕掛けを1m上げる。」
- このようにして棚を下から上まで探ってくる。
潮が緩んできたときは魚が浮いてくる。底から高いところでマダイを釣った。
- 上の棚まで来たら、仕掛けを回収してアミエビをかごに入れる。